

平成26年度 市政懇談会  
【意見・質問・提言等】

	大分類	小分類	意見・質問等	回答	会場別	回答者
1	道路交通	公共交通	<p>日東バスの便数が減り、デマンドタクシーが廃止され、館山や病院へ行くのが不便になった。また、高速バスを利用して東京に行っているが、市営バス「うらら」が廃止になり日帰りが難しくなった。</p> <p>市政バスなどが廃止されても新たな対策がとられていないので、高齢化が進む中で交通対策をお願いしたい。</p>	<p>交通対策はとても難しい問題で、これまでどのような体系が市民の皆さんにとって最適なのか模索してきていました。デマンドタクシーについても試験的に導入しましたが、利用者が少なく中止させていただきました。</p> <p>市民の皆さまは、館山方面に行くことが多いので、その交通手段を支援するのが良いとは思いますが、自治体が違うことや交通事業者を圧迫してはいけないなどの問題があり苦慮しております。今後も皆さんからご意見を伺いながら、高齢者が外出しやすいような方法を検討し、最適な状況に近づけるよう努力していきます。</p>	丸山	市長
2	市政一般	将来像	<p>南房総をどんな街にしたいか。目標とするものはなにか。人を集めることが重要だと思う。人が集まるためには、働く場所、きれいなこと、おいしい食物などいろいろとあると思うが、南房総は雑草のないきれいな街づくりを行ってみてはどうか。</p>	<p>定住人口を一気に増やすことは難しいことですが、定住人口を増やす対策としては、住宅取得奨励事業を行っています。定住人口を増やすことも大切ですが、まず、南房総の豊かな自然、豊かな食文化などの魅力を生かして、この地域を訪れる方を増やし、そして地域に魅力を感じて住んでいただける方を増やしていきたいと考えています。</p> <p>「どんな街にしたいか。」については、市民、企業のやる気を支え、想像力を高められるような街づくりをしていきたい。具体的には、企業への設備投資、人件費の補助を行っています。また、市民の皆さんと地域づくり協議会を立ち上げ、地域の課題に共に取り組んでいける制度も作りました。今後も、この地域でやる気を持って暮らしていけるような街づくりをしていきたいと思っています。</p>	丸山	市長
3	道路交通	公共交通	<p>高齢者の一人世帯のため、バスの問題に不便を感じている。地域の中にも私と同じような人がおり、市全体ではたくさんいると思う。市政懇談会も近所の人々が誘ってくれ、乗せて来てくれたから参加することができた。テレビで東南アジアの小型の乗合い自動車を見た。余りお金をかけなくてもできる方法がないか。また、NPOではできないか。</p>	<p>高齢化が進むと、交通の問題や地域のコミュニティなど様々な問題がでてくると思います。身近な人たちで支え合う体制を今後どうすればいいのか、また、行政がどのように関わっていけばいいかなど課題も出て来ると思いますので、ご意見として伺いさせていただきます。</p>	丸山	市長
4	保健福祉	高齢化対策	<p>高齢者のためのサービス、補助金があるが、一括して対応していただけるような部署があるのか。また、役所の書類は種類が多く、不足があると何回も役所に行かなければいけないので、書類の作成に協力してくれるような工夫をしていただきたい。</p>	<p>現状は、保健福祉部や市民生活部など複数の部署に跨っております。書類の作成にあたっては、職員の説明、対応など改善できるところはしていきたいと思っています。</p>	丸山	市長
5	学校教育	学校再編	<p>丸山・和田小学校の学校再編について、学校再編委員会で2年間協議して場所を選定したとのことだが、メンバーは2年間同じだったのか。</p>	<p>基本的には同じですが、PTA役員、校長、区長などの委員は、年度で人が変わった場合については、若干入替えがありました。基本的には同じメンバーです。</p>	和田	教育長

	大分類	小分類	意見・質問等	回答	会場別	回答者
6	学校教育	学校再編	丸山・和田学校再編委員に第三者的な人が入らないと丸山になってしまう。丸山地区に学校が片寄るのはよくない。まだ、丸山に決定したのではないので、早急に結論を出さずに和田に小学校を建設してほしい。	再編検討委員のメンバーは、人数とすれば和田地域の中では一部の方々かもしれませんが、地域の方々の気持ち、意見を聞きながら再編検討委員が代表して、子供たちの安心・安全、小中一貫の教育体系などいろいろな視点から考え、2年以上協議してご意見をいただいたと考えております。和田地区に学校を残せないかというお気持ちはわかりますが、私としましては検討委員会の結果を尊重したいと考えております。	和田	市長
7	学校教育	学校再編	丸山・和田統合小学校の位置が、丸山になった理由は。	3点ございます。まず、東日本大震災があり津波のことを考え、一定の海拔があり、2次避難を考えなくて良い場所であるということ。2つ目としては、保護者からすれば災害時に保育園児、幼稚園児、小学生、中学生が1か所にいるという安心感があります。3つ目は、子供が減っており、統合時は児童がある程度おりますが、現在の見込みだと平成32年には300名位になり、その後も減っていきます。小・中学校の生徒が減っていった時に、隣接したところに小中学校があると小中一貫、小中連携などいろいろな教育の可能性があると考えられます。	和田	教育長
8	学校教育	学校再編	丸山・和田統合小学校の位置を決定するのに、津波のことを考える必要はないと思う。防災のことを考えれば避難タワーを建設しておけばいい。財政状況が厳しいのであれば、現在使用している小学校に避難タワーを作る方が経費もかからない。また、子供が減っているかどうか、20年後どうなるかわからないため、統合を急ぐ必要がないのではないか。	<p>有利な財源が利用できるときに、やらなければいけないことはやっていきたいと申し上げましたが、学校再編は、財政的なことを優先しているわけではありません。子どもたちがより良く育つ教育環境を整備することが一番大切と考えています。それを議論した結果、統合は10年後、20年後でも良いということであれば急ぐ必要はないと思っています。結果としては、今統合しようという意見でまとまった訳ですから、財政的な理由が一番ではないということ、御理解いただきたいと思います。</p> <p>また、津波のことについては、検討委員会の中でも避難タワーなど高いところに逃げればいいのかという議論はあったと思いますが、全体の議論の中でより安全なところへ建設しようということになったと認識しております。</p>	和田	市長
				<p>南房総市内で学校再編を進めていますが、子供の数が非常に減ってきていることによるものです。和田小学校でも1学年10人にならないようなクラスが出てきており、今の状況でいきますと平成30年度には複式学級にならざるを得ない状況にあります。また、10人以下になると、男女のバランスが悪くなる状況が出て来ることもあります。現に丸小学校の4年生は、男10人で、女は0です。今度入園する子供も男の子ばかりではないかと思われま。このようなことがありますので、早急に変えていけるものは、変えていく必要があります。保護者の皆さまからも統合についての御理解をいただいているものと考えております。</p>		教育長
9	学校教育	学校再編	丸小学校と南小学校は丸山地区で、和田小学校と南三原小学校は和田地区でそれぞれ合併すればいいのではないか。	和田小学校、南三原小学校、丸小学校はいずれも老朽化しており、建て替えなければいけない状況にあります。建て替えとなると、海拔の低いところに建て替えることについて、保護者の御理解がいただけるかという問題もあります。また、和田と丸山に1校ずつ建てたとしても、いずれ100人以下の学校になることが見えておりますので、その時点で和田と丸山が統合ということになった場合に財政的に可能かなど含めて考えますと、和田と丸山を統合して300人規模の小学校という結論にいたしましたので、御理解いただければと思います。	和田	教育長

	大分類	小分類	意見・質問等	回答	会場別	回答者
10	学校教育	学校再編		<p>検討委員会の中で、私どもは過去の地震で現在海拔15m位のところに津波が到達したという記録があり、その場所は地震のたびに隆起しているため、実際の津波の高さは10m位だったということも説明しています。</p> <p>市としては過去にきた津波の場所を想定し15m位と提案しましたが、保護者の皆さま、地域の皆さまは、15mでは安心できないと納得されませんでしたので、嶺南中学校の隣接地なら心配ないだろうというような判断になっております。</p>	和田	教育長
			<p>9月6日の九都県市防災訓練は8mの津波を想定していた。過去に起きた元禄地震の大津波の高さは10.5mだった。それなのに学校の場所を決めるのに想定された津波の高さが15mで、津波の想定が高かったため、場所の決定の判断を迷わせたのではいか。</p>	<p>15m程度という高さのことで、東日本大震災前の南房総市の防災計画は、元禄地震の津波を想定し計画が立てられており、外房地域は8m位までは津波の危険性がありますということになっていました。東日本大震災後、自分なりに勉強しまして、高さという点では何m以上だったら100%安全ということは言い切れませんが、想定外を想定することの大切さが言われておまして、市長として市民の皆さんに具体的に数値を示す必要があり15mを目安といたしました。15mに論理的な根拠はありませんが、過去の津波や想定外を想定しても15mならほぼ安全であろうと考え、15mの線を引かせていただきました。数字として示すことは、市長としての責任だと思っています。その15mという数字が検討委員会の中で参考になったということは否めないと思いますが、トータル的には教育長が申し上げたように、より安全なところということで議論がまとまっていったと思いますので、御理解いただければありがたいと思います。</p>	和田	市長
11	消防防災	避難所	<p>北三原地区に広域避難所がない。避難所、備蓄物資は身近な所に置くべきではないか。また、公民館も廃止されたが、廃止するときは地元と話し合ってほしい。</p>	<p>北三原公民館を廃止して現在の施設にするとき、当時地元の方と話し合いをしておりますが、広く地域の皆さまに伝わっていなかったことは反省しなければなりません。</p> <p>ご意見をいただきました北三原地区の避難所の指定については、今後検討していきたいと思っております。また、現在、防災マップをお配りしておりますが、適宜見直しが必要なこともあると思っておりますので、お気づきのことがございましたら、ご意見をいただければありがたいと思っております。</p>	和田	市長
12	消防防災	防災対策	<p>小向ダムの耐震性について、どのような検査しているのか教えてほしい。</p>	<p>ダムの耐震設計は、「震度法」を用いて行うことが河川管理施設等構造令などに定められており、小向ダムもこの方法により設計されています。</p> <p>この「震度法」で建設されたダムは平成7年の兵庫県南部地震(マグニチュード7.3)後の評価において、十分な耐震性を有していることが確認されています。また、平成23年3月の東日本大震災(マグニチュード9.0)においても、ダム本体施設に管理上支障を及ぼす大きな被害は発生しておりません。今後も十分なダム管理をしていきたいと思っております。</p>	和田	水道局

	大分類	小分類	意見・質問等	回答	会場別	回答者
13	保健福祉	高齢化対策	高齢化が急速に進んでいる中で、南房総市としてどのような対応をしていくのか。また、若い世代の方が高齢者の父母の面倒を見ようとしても、働く場所がなく生活していけないので、企業誘致を進めてほしい。	企業誘致に関しては一生懸命取り組んでおりますが、なかなか実績を上げられないというのが現状です。現在も、企業の方とお話をさせていただいていることでもありますので、1社でも2社でも誘致できるように頑張っていきたいと思っております。 高齢化対策としては、高齢者になると一般的に交通弱者になりますので、市独自でタクシーやバスの料金の一部を補助することや社会福祉協議会のボランティア移送などの外出支援サービスに取り組んでいます。介護関係の事業は、毎年のように費用が増えており、介護保険料となって皆さまに跳ね返ってくることもありますので、抽象的な言い方になりますが、需要と供給のバランスを考えながらしっかりと取り組んでいきたいと思っております。	和田	市長
14	消防防災	防災対策	和田小学校の下の踏切付近にある「地震だ！津波だ！すぐ避難！」という南房総市で建てた看板がある。その中に16.4mの津波の高さが記録されたという表記があるが誤りではないか。全部で3か所あった看板の内2か所撤去されたが、まだ1か所残っているので、早急に看板を撤去していただきたい。	看板は旧和田町のときに建てられております。合併後、看板の中の海拔の記載が違うのではとの指摘があり、海拔の記載を書き換えたときに、合わせて和田町から南房総市に変更した経緯がございます。津波の高さの件につきましては、ご指摘のとおりだと思いますので、現地確認し看板は早急に撤去するようにいたします。	和田	市民生活部
15	学校教育	学校再編	和田と丸山地区の小学校4校の統合だと地域から学校がなくなってしまうので、旧町村単位で小学校を統合すればいいのではないか。学校がなくなると地域コミュニティなどがなくなり和田地域は廃れてしまうと思う。	学校再編については、南房総市だけでなく全国的な問題となっており、学校再編にあたっては、大きく分けて2つの考え方があると思っております。 1つは子どもたちの教育を考えて切磋琢磨できるような環境で育てることが良いということ、もう1つは、地域コミュニティの核となるものがなくなってしまうということで、観点がまったく違う考え方が出てきて、まとまらないという状況があります。 最終的に私どもは、子供たちの教育の場として何が一番良いか考えなければいけないと思っております。学校再編検討委員会のメンバーも和田、丸山の地域を越えて、子どもたちの将来のことを考え検討していただいた結果が、今回の意見具申になっていると考えております。 今まで富山、富浦、白浜、千倉からも意見具申をいただいておりますが、今回の意見具申は特別に1項目多くなっております。再編検討委員会の皆さまが最後に付け加えていただきたいというもので、内容は「地域の施設整備に関する事項」として、「地域コミュニティの維持や地域住民の安心安全を確保するため、地域の拠点となる施設や避難所の設置を要望する。」というものです。これにつきましては、私どもは非常に重く受け止めており、できるだけ実現を図っていきたく思っております。	和田	教育長
				和田からは学校が無くなって衰退していくということですが、今教育長が申しました提言は、重く受け止めたいと思っております。 私は市政を運営するにあたり、どこの地域に肩入れしようとか、そのようなことはもちろん思っておりません。南房総市が全体的に均衡ある発展を念頭に置きながら努力したいと思っております。すべての地域で同時期にあらゆることを実施することはできませんが、検討委員会の意見の結果も重く受け止めながら、和田地域の活性化を考えていきたいと思っております。	和田	市長

	大分類	小分類	意見・質問等	回答	会場別	回答者
16	学校教育	学校再編	旧和田中学校の跡地利用はどうなるのか。地域の方が使用できるようになるのか。	現在、嶺南中学校和田校舎として位置付け、主に部活動等で使用しております。また、地域の方々の合唱の練習や安房拓心高校のサッカー部も利用しております。嶺南中学校の教育に支障のない限りは、校舎、体育館、グラウンドなどお貸しする考え方でいます。当分の間は、嶺南中学校和田校舎として使用する予定でありますが、校舎として使用しなくなった場合は、地域の方々の意見を踏まえて跡地利用を考えていきたいと思ひます。	和田	教育長
17	学校教育	学校再編	旧和田中学校に避難タワーを建てて小学校として使用するつもりはないか。	小学校の場所を検討する時に、私どもは海拔15mあれば一定の安全は確保できると思ひて候補地を提案しましたが、検討委員で言われたのが「15mで何かあった時に誰が責任をとるのか。」ということで、保護者や地域の方は、安全より安心に対する思いが強いと感じております。また、避難タワーを建てた場合は、2次避難をしなければいけないということもあります。そのようなことから、旧和田中学校を使用することは、私どもとしましても提案できませんし、保護者の方の理解も得られないと判断しております。	和田	教育長
18	社会教育	施設管理	白浜フローラルホールを貸して、新たにコミュニティセンターを建設することだが、残存する施設が多いのに新しく建てるのはなぜか。	現在、フローラルホールを有効活用できる提案があればということで公募しております。フローラルホールの維持費(約年間2,000万円)は、借りた方に負担していただきたいと考えておりますので、維持費はかからなくなります。また、コミュニティセンターを建てるにあたり、フローラルホール、公民館、保健センターを廃止して、新たに建設したいと思ひます。3施設を廃止して、1施設にすることでランニングコストを削減していきたいと考えております。	白浜	市長
19	社会教育	施設管理	白浜フローラルホール、公民館、保健センターを壊して、新たに施設を建設するのではなく、財政的に厳しいのであれば、今の施設を使用すればいいのではないか。	3つの施設は建設から年数が経っており、それぞれ改修する必要があります。改修費用は、5億円程度かかってしまいます。新たな施設の建設費も5～6億円を見込んでおります。耐用年数等を考え、新たに施設を建設した方が中長期的に見て財政的に有利と考えております。	白浜	市長
20	学校教育	学校再編	市内各地で学校再編が進められています。学校の耐震工事などをした後に、学校再編が行われ費用が無駄に使われているのではないか。	学校再編は、財政的なことよりも、子供たちの教育環境をより良いものに整えたいということで、地域の方々と議論を重ね行っているものです。市が一方向的に進めているものではありません。結果として、閉校となった学校については、有効活用できるように、無駄にしないように考えていきたいと思ひています。	白浜	市長
21	社会教育	施設管理	白浜フローラルホールの前土地を5,000万円かけて取得したのに、何も使われていない。	将来的な活用を考えて市にとって有利だろうと思ひたので5,000万円ほどかけて取得しました。たしかに今までは使っておりませんが、これから施設を再編する中で活用していこうと考えておりますので、無駄にはしません。	白浜	市長

	大分類	小分類	意見・質問等	回答	会場別	回答者
22	広域行政	ゴミ処理施設	ゴミ処理施設が大貫地区に建設されるとのことだが、施設からの排水はどこに流れるのか。	大貫地区のグリーンライン沿いにゴミ処理施設の建設を予定しております。排水は千倉町白子側に流れます。今回建設するゴミ処理施設は、ゴミ焼却の過程で発生する水は、一切外には出しません。全て施設内で使ってまいります。どのような水が排出されるかという点、トイレや普通の水道施設がありますので、合併浄化槽を通して河川に排出されますが、これは他の施設と何ら変わりありません。	白浜	市長
23	道路交通	公共交通	電車の駅がないので、遠くに行くとき千倉か館山に行かなければいけないことや、買物もほとんど館山に行かなければいけない。赤字路線のためバスの便数も減っており大変不便である。病院の送迎バスやスクールバスとの連携など、工夫して白浜地区の足を確保していただきたい。	市では、民間の方々にも委員となっただき公共交通会議の中で、行政と民間が一体となってどのような交通体制がいいのか協議をしていますが、民間路線バスとの調整など課題も多くあります。ご意見いただきました民間との連携も含めまして、これからも知恵を絞ってより良い交通体制が整備できるようにしていきたいと思っております。	白浜	市長
24	学校教育	学校再編	旧長尾小学校が一時避難所になっていると思うが、ロープが張られ侵入禁止となり、草刈りもされていない状況である。一時避難場所として利用できないのか。また、今後は子どもの遊び場、老人の憩いの場として整備していただきたい。	まず、一時避難所についてですが、津波の時など緊急の場合はロープをはずすなどして避難していただきたいと思っております。次に跡地の活用について現在決まっていることは、敷地の一部に津波をキャッチする基地局を建てることとなっております。残りの場所についても部分的に公共的なことに使用するという話が進んでいます。また、跡地利用の公募をしております。数件ご提案もいただいている状況にあります。今後、議員の皆さまなどとも話をしながら地域にとって有効活用できるようにしていきたいと思っております。ご意見のありました子どもの遊び場などにすることについても、ご要望として受けとめさせていただきます。	白浜	市長
25	商工観光	観光	合併しても市の観光業がバラバラと感じている。組織をひとつにまとめ、観光業に特化している人をリクルートしてシステムを作り直すことが必要ではないか。	市の観光は、民間事業者と行政が協力し合って進めているのが全体的な取り組み方だと思っております。観光協会は民間団体ですので、観光業のため自ら創意工夫をして、地域、自らの発展のために頑張っていく、市はそれを物心両面から応援していくことかなと思っております。合併前は7つあった観光協会がひとつになりましたので、いろいろなご意見が中にはあると思いますが、ひとつの方向に向かっていっているのではないかと考えております。観光に知識、経験を持った有能な方を引っ張ってこることにつきましては、他市ではそのような方が地域になじめないこともあり失敗している例もありますので、南房総地域で有効に機能するか冷静に考え、観光協会の方々とも相談しながら進めていかなければいけないと思っております。	白浜	市長
26	消防防災	防災行政無線	富山地区の断水の放送が市内全域で放送されたが、該当地区だけに放送することはできないのか。	防災行政無線の地区別放送は、技術的には可能ですので要望として承り検討したいと思います。	白浜	総務部

	大分類	小分類	意見・質問等	回答	会場別	回答者
27	市政一般	将来像	ことしの予算を見たが、南房総地域に若い人を残そう、呼び込むというビジョンはないのか。	ことしの予算の中に、情報通信関連企業立地促進人材育成事業とありますが、今年3月から富山地区にIT関係の企業に来ていただいて、約50人が報酬を貰いながら情報技術を身につけるための研修を行っております。これは、若い人達に働く場所を提供したい、定住していただける人を増やしたいと思って実施しております。この他にも、地域の活性化を図るため「一店いってん」運動推進事業や中小企業新事業及び雇用創出事業などに取り組んでいますが、なかなか若い人達に残っていただくのは難しい状況にあります。これからも少しでも残っていただける、また、定住していただけるようなことをしていきたいと思っております。	白浜	市長
28	消防防災	防災行政無線	最近、防災無線の放送が、時間がずれて2重で放送され聞きにくいので、改善してほしい。	南房総市では、市内全域を3年かけてアナログ放送からデジタル放送の切替え工事を進めております。現在富浦地区は、アナログ放送とデジタル放送が混在しておりますので、工事が終わるまで聞きにくいことがあり、ご迷惑をおかけして申し訳ございませんが、御理解をお願いいたします。	富浦	市民生活部
29	農林水産	農林水産業振興	第1次産業の農家の生産力アップのための対策をお願いしたい。生きがい対策となり医療費の削減、耕作放棄地の減少にも繋がっていくと思います。	ご要望として受け止めさせていただきます。第1次産業は、市の基幹産業のひとつで、とても重要だと思っています。しかし第1次産業を取り巻く環境は、非常に厳しいものがありますので、これからも地域の皆さんと相談しながら、第1次産業が維持、発展していけるように支援していきたいと考えております。	富山	市長
30	農林水産	農林水産業振興	和田に捕鯨基地があるが、捕鯨についてどのように考えているか。	和田のツチ鯨は、年間26頭の頭数の制限がある中で捕獲しています。今後も同じように捕獲を続けていければいいと思っています。世界的な捕鯨としては、IWCの中でいろいろ議論されておりますが、日本政府と同じで基本的に捕鯨が再開できればいいと思っております。	富山	市長
31	道路交通	公共交通	南房総地域は、電車の本数が少なく、接続も悪く非常に不便なので改善していただきたい。また、バスはどのような改善が行われたか。	電車に乗ってきて、その後バスに乗り換えることについての接続は、1時間に1本程度なので難しい面もありますが、改善できることがあれば事業者にも相談していきたい。 市営バスなどの公共交通については、これまでバス路線の見直しやデマンドタクシーの導入など行ってきましたが、なかなか思うような成果が出ていないのが現状です。今後も市民の皆さんにとって、どのような体制がいいのか考えていきたいと思っております。	富山	市長
32	消防防災	防災行政無線	戸別受信機、受信アンテナ等を避難場所の集会所に設置してほしい。	市では、各集会所などの一時避難場所への設置は予定しておりません。自主防災組織補助事業(2分の1補助)を活用し整備していただきたいと思っております。	富山	市民生活部
33	情報推進	通信環境	荒川地区の県道沿いは、携帯電話が入らないので入るようにしてほしい。	市からも事業者にも要望していきます。	富山	市長

	大分類	小分類	意見・質問等	回答	会場別	回答者
34	道路交通	道路	県道の草刈りを年2回してくれているが、ゴミゼロ運動で地域住民が刈ったあとに行っているのので時期をずらしてほしい。また、土木業者に委託している草刈りを、区に委託することはできないか。	県道の草刈りは、予算の関係から回数が減ったり、危険箇所のみとなっていることは市も承知しております。建設業協会などがボランティアで行っているとも聞いております。他の地域でも同様のご意見がありますので、なるべく時期をずらしていただけるように話をしていきたいと思っております。地域の方に補助金を出すことについては県に聞かないとわかりません。	富山	建設環境部
35	市政一般	市庁舎	合併特例債がなくなり交付税も減っていく中で、市の財政状況も厳しくなるとのことだが、その中で市庁舎を建設する必要があるのか。また、今後市は予算を縮小して運営していくのか、借金等をして運営していくのか、いろいろな方法があると思うが、今後の方針を聞かせてほしい。	市庁舎を建てることではございません。中長期的に見て建てたことにより財政を圧迫し運営していけなくなるとはいたしませんので、慎重に検討して行きたいと思っております。 今後の予算の見通しについては、現在市の貯金と言われるものは約196億円あります。ひと口に貯金と言いましたが財政調整基金、減債基金などいろいろあり、それぞれに目的があります。基本的には目的以外に使用することはできませんが、一番融通の利き自由に使えるものが財政調整基金になります。現在は黒字ですので剰余金は財政調整基金等に積んでおります。しかし、平成30年頃から5～6年間は単年度で見ると赤字になると見込んでおまして、財政調整基金を取崩し運営することになると思いますが、財政調整基金が枯渇することはありません。市が貯金がない状態で、健全な財政運営は出来ないと考えておりますので、それを念頭に財政運営しております。	富山	市長
36	学校教育	学校給食	給食費の滞納状況を教えてください。	平成26年度から給食費を3か月未納した場合は、給食を止めますという規則を作りました。平成26年度からの3か月未納している方はいません。今まで未納していた分も支払ってくれる方も増えており、滞納状況は改善しております。今度も未納を作らないように、引き落としできなかった場合はこまめに回るなど努力していきたいと思っております。	富山	教育長
37	保健福祉	生活保護	生活保護家庭は増えているのですか。	市内で生活保護は増えてきております。平成26年4月現在で245世帯、288名となっております。これは、南房総市だけでなく景気の低迷などにより全国的な傾向です。	富山	保健福祉部
38	消防防災	防災行政無線	子供たちの登下校の時間帯に事故等の注意を呼びかける放送を防災無線で流してほしい。	教育委員会とも協議し、検討いたします。	富山	総務部
39	市政一般	市庁舎	市庁舎の建設に反対ではないけれども、建設するのであればなるべくお金のかからない方法で行っていただきたい。また、国県など他の行政機関といっしょに建設すれば安くすむのではないか。	市庁舎建設は、建てるべきか、建てざるべきか慎重に判断していきたいと思っております。建設するときは、ご意見にもありましたように、より便利で、より合理的に、少しでも経費を安くすることを念頭に置きながらやらなければいけないと考えております。	富山	市長



	大分類	小分類	意見・質問等	回答	会場別	回答者
40	道路交通	公共交通	公共交通の問題は、市単独ではなく安房4市町で取り組むべきではないでしょうか。	公共交通に関しては、タクシー、バスなどの民間の事業者、国、県、館山市などに委員になっていただき公共交通会議という会議で、南房総市の交通体系、市民の皆さまにとってどのような体制がいいのかということを考えております。安房地域の場合は、経済活動の中心は、館山、鴨川方面にありますので、南房総市だけで解決できる問題ではないと思っております。また、自治体も違うので限界もありますが、これからも利用しやすい交通体系を検討していきたいと思っております。	富山	市長
41	保健福祉	高齢者化対策	福祉の窓口は合併により三芳になり遠くなった。移動が困難な方については、職員が家に向かうなどの考慮が必要だと思いますがどう考えますか。	高齢化が進みこれからも交通弱者が増えていくことが予想されます。市の職員も減少していく中で、福祉のニーズにこたえられるように市職員だけでなく、民生委員や市民ボランティアの方々などに支えていただけるような体制を作って、高齢化社会に対応していかなければいけないと考えております。	富山	市長
42	消防防災	防災対策	防災体制は、市の組織体制との関係もありますが、今のままでいいのか。改善すべきことがあれば改善していただきたいと思うがどうですか。	東日本大震災は南房総市にとって大変教訓になりました。南房総市の防災体制の不十分なところを見直すきっかけとなり、その後も台風、大雨などで見直すことがあった場合はその都度見直しをしております。後手後手に回ってはいけません。市としては先を読みながら、どのような場合にも対応できるようにこれからも努力していきたいと思っております。皆さまからもお気づきのことがありましたら、ご指摘をいただいて改善できることはしていきますので、よろしく願いいたします。	富山	市長
43	農林水産	環境対策	牛の尿処理施設からの臭いで迷惑している。市が迷惑施設の近隣住民に対し、無記名で定期的にアンケートなど実施して、改善できることは改善していただきたい。	尿処理施設からなるべく臭いがでないように対処していきたいと思っております。近隣住民へのアンケート調査については検討させていただきたいと思っております。	三芳	農林水産部
44	学校教育	教科書	市内の中学生に配布している道徳教科書の配布をやめていただきたい。	道徳教科書は、道徳の時間に使うことで配布はしておりません。読書活動の目的と、現在の中学生にとって将来をイメージすることが難しい時代で、どのような生き方をしていけばいいのかということが大事になってきておりますので、本の内容は伝記です。例えば、ヘレンケラーが尊敬した鳩 保己一、ケネディー大統領が尊敬する人として上げたのが上杉 鷹山、子供たちの身近なところでは、イチロー、ビートたけしなどで、中学生がいろいろな生き方をした人たちのことを読むことは、私は必要なことだと思います。教育委員会にも報告し、議会の皆さまにも読んでいただき、予算に賛成していただいております。現在、配布をやめる予定はありません。	三芳	教育長
45	道路交通	道路	高齢化が進み地元で行っている道路の除草作業が困難になっている。東京電力から入る電柱の地代を、地域活動への補助、道路の除草作業の費用にすることはできないか。	地域活動で行っていただいている道路の除草作業は、高齢化が進む中で地域によっては難しくなっているということは認識しております。すぐに解決策は見つかりませんが、重要な課題として、これからも考えていきたいと思っております。また、市の予算の中で東京電力の占用料を、道路美化の地域活動、道路の除草作業に使うという考え方をとっておりますので、ご理解いただきたいと思っております。	三芳	市長

	大分類	小分類	意見・質問等	回答	会場別	回答者
46	消防防災	防災対策	近年、異常気象で考えられないような災害が発生するかも知れない。降水量の観測地点の場所はどこにあるか。また、市内にどれくらいあるか。	市内の雨量計の箇所数については、今資料がありませんのでお答えできませんが、例えば三芳地区ですと雨量計と水位計がいくつかあるのが、下堀の平群川沿いにあります。平群の荒川や館山の安房土木事務所にも雨量計があります。すべての設置場所は分かりませんが、県の管理している2級河川には雨量計と水位計が設置されています。	三芳	建設環境部
47	消防防災	避難所	河川氾濫による池之内地区の避難場所はどこですか。防災備蓄倉庫はどのくらいありますか。	防災備蓄倉庫は、市内で29か所設置されています。中には食糧、飲料水、毛布、ランタンなどが入っており、地域住民の1割の3日分を備蓄しています。平成29年までに1割から2割に増やす予定です。三芳地区の広域避難場所は3か所、一時避難場所は34か所ございます。災害の内容により避難場所も変わりますが、大雨の場合は、三芳農村環境改善センターは早い段階で広域避難所として開設いたします。また、一時避難所は、地区の集会所などがなっておりますので、各家庭に配布してある防災マップでご確認ください。	三芳	市民生活部
				台風などの大雨の時、地域の皆さまに避難を呼びかけるときは、防災行政無線、安心安全メールで周知します。、まず避難準備というものがありませんが、これは、避難勧告が出たときにすぐ避難できない体の不自由な方や高齢者の独り暮らし等で不安があるなど、予防的に避難するものになります。避難準備は、避難勧告より前に出ますので、避難勧告が出た時よりも比較的 safely に避難できますので、不安がある方は避難準備の時点で避難していただければと思います。	三芳	市長
48	消防防災	避難所	災害で一時避難所に避難したとき、区長、組長などがどのようなことをすればいいかのマニュアルを作成してほしい。	各行政区単位で自主防災組織を設置していただき、その中で避難所に集まっている人を確認する人、安否のわからない方を探しに行く人などの役割分担を決めて、いざという時に備えていただければと思います。マニュアルについては、地域により事情も異なりますので、できる範囲でお決めいただければと思います。	三芳	市長

	大分類	小分類	意見・質問等	回答	会場別	回答者
49	農林水産	農林水産業振興	米の価格が下がり、畜産農家も後継者がいなく、若者の農業ばなれが起きている。農業は市の基幹産業と考えますが、農業者の育成をどのように考えるか。	<p>一次産業の振興は重要な課題としてとらえています。この地域には観光業もありますが、豊かな一次産業資源があるからこそ観光業が成り立っているものと考えますので、農業、漁業を維持、発展させていかなければいけないと思っています。</p> <p>事業としては、新規就農者支援事業という国の事業がありますが、国の事業より対象者を広げて、市独自で就農者の研修、研修を指導する農家への助成、生活給の補助などを行っています。農協と共同出資して農業支援センターを設立したり、農地の集約や畜産堆肥の流通などにも取り組んでいます。</p> <p>現実的には、今年の米価などから農業に対して強い危機感を感じていますが、1自治体でどうにかできるレベルではないと思います。国も真剣に考えていただいていると思いますし、今後はTPPの問題など農家を取り巻く環境はたいへん厳しい環境にありますが、市としてやれるだけのことはしていきたいと考えています。皆さんからもご提案がありましたら遠慮なくご意見いただきたいと思っています。</p>	三芳	市長
50	学校教育	学校再編	幼保一体化施設が建設され、幼稚園、保育所はどうなるのか。他の地域でも、学校の統合により使用しない校舎があるが、今後どのような活用をしていくのか。	<p>幼稚園舎は建物が古いので取り壊します。国民体育館は壊さずにそのままにします。園舎を壊すとある程度の土地ができますので、何か地域のために利用できればいいと考えます。保育所の跡地利用は、現時点では決まっておりますが、今あるものを生かしながら有効活用したいと思っています。</p> <p>他の地域の廃校となった跡地利用については、古い建物の場合は取り壊すこともありますが、地域の方々と相談し今後の利活用を検討したり、市民、企業などから利活用の公募するなどして、有効活用していけたらと考えております。</p>	三芳	市長
51	広域行政	火葬場	火葬場の建設にあたり、地元との約束で未達成のことがあるので、ご配慮をいただきたいと思っています。	これまで通り誠意をもって取り組んでいきたいと思っています。	三芳	市長
52	道路交通	道路	パチンコ店の側の踏切が、子供たちが通学するとき危ないので改良していただきたいと学校等を通じてJRに要望しているが回答がない。市もJRに要望しているのか。	市からも要望しておりますが、踏切の改修費が億単位でかかることもあり、なかなか進まないのが現状です。引き続きJRに対して要望していきたいと思っています。	千倉(健田)	市長
53	市政一般	市政	最近、公共施設などにも国旗が掲げられていない。旗日に国旗を掲げる家庭も少なくなってきた。国を思う心が大事なので、国旗を買うのに補助を出していただきたい。	国旗を買うことに補助金を出すことについては、要望として受けとめさせていただき、慎重に考えていかなければいけないと思います。国を思う心ということでは、南房総市だけでなく日本国民がそういう気持ちを持つ社会環境づくり、教育を充実させていく必要があると思います。	千倉(健田)	市長

	大分類	小分類	意見・質問等	回答	会場別	回答者
54	農林水産	農林水産業振興	自然豊かな南房総地域の農林水産業には魅力があり、地域の産業は一次産業だと思う。人口減少が進み、仕事がないというが太陽と海があれば、仕事があると思うので農業、漁業の振興をお願いしたい。	私も地域の基幹産業は一次産業だと思っています。一次産業の現在置かれている環境は厳しいものがあると思いますが、将来に向けて少しでも希望を持って取り組んでいけるように、市としても支援していきたいと考えています。	千倉(健田)	市長
55	道路交通	道路	区の要望で、水神社から千倉小学校までの道路側溝の蓋の設置を要望しておりました。学校統合によりバスの通行、交通量の増加、カーブでは車が脱輪することもあります。市からの回答は最低のランクDということです。朝夕の交通量の多いときに現地を見て判断していただきたい。	区から要望いただきまして、ランクが低かったということですが、この路線については、通学路の合同点検というものがあまして学校からの要望も出ております。距離も長くすべてを一度に整備することは予算的にも厳しいものがありますので、危険な場所をよく調査しまして、危険な場所から整備していきたいと思っております。	千倉(健田)	建設環境部
56	社会教育	文化財	市には、資料館、美術館、博物館などの文化施設がひとつもないので整備する考えはないか。特に資料館を希望しますが、学校の空き校舎を活用すればいいのではないのでしょうか。	市としては資料館などの文化施設を整備したいという考えはもっています。新たに建設することも考えられますが、費用などのこともありますので、公共施設の再編が行われていく中で、未利用になった施設を活用できないか考えていきたいと思っております。	千倉(健田)	市長
57	社会教育	文化財	学芸員を募集していたようですが、採用状況は。また、里見城が文化財の国の指定を受けたが、里見城、白浜城の保存についてどのように進めていくのか。	学芸員の採用は、試験がこれからになります。新年度に採用する予定となっています。 岡本城跡が国の指定を受けまして、たいへんありがたいことと思います。今後整備して後世に残していきたいと思っておりますが、予算もかかります。全国的な事例を見ますと、20～30年かけて徐々に整備しているのが一般的な状況です。なるべく早くとは思いますが、徐々に整備を進めていきたいと考えています。	千倉(健田)	市長
				岡本城の史跡についてですが、平成24年1月に国の指定をいただきまして、平成25年度は、地権者など地域の皆さまと協議を進めてまいりました。今年度から保存管理計画を立てるための委員会を設置いたしました。市長が話しましたように20～30年かけて進めていく事業となりますので、最初にしっかりと計画を立てるために、4、5年かけて大学教授、県職員とも協議しながら行っていきます。その後、具体的な計画を立てて整備を進めてまいります。	千倉(健田)	教育長
58	農林水産	有害鳥獣対策	イノシシの解体処理場がないので整備していただきたい。水道付きで簡易なものでもいいので、早急に対応をお願いしたい。	2年ほど前、県に解体処理場の要望しましたが、市ですべて管理していかなければいけないということで、費用対効果等を考えたためらったことがありましたが、簡易的なものということであれば、検討させていただきます。	千倉(健田)	農林水産部
59	農林水産	有害鳥獣対策	イノシシの増加により、ハイキング客が襲われたり、ヒルが蔓延することなどが心配されるので、駆除することが大事である。有害鳥獣駆除の免許の取得の奨励を進めてほしい。市職員も免許を取得し協力していただきたい。	免許取得の費用は、全額を県、市、共済で負担して免許取得の促進をしています。ただし、交通費は自己負担となります。今後も支援していきたいと考えております。	千倉(健田)	農林水産部

	大分類	小分類	意見・質問等	回答	会場別	回答者
60	子育て支援	子ども医療費	館山市では、子どもの医療費の無料の範囲を拡大するとの記事を見ましたが、南房総市で行う考えはないか。	子ども医療費の無料化については、南房総市は県の基準に基づき中学3年生までは入院費、小学3年生までは入院費と通院費について実施しています。館山市は、独自に通院費の無料の範囲を小学3年生から小学6年生まで引き上げました。現時点で南房総市は引き上げる考えはありません。	千倉(健田)	保健福祉部
				南房総市は、医療費に関しては館山市よりも無料で受けられる範囲が狭いですが、子供の教育ということでは、他市よりも充実していることがあります。今年の予算の8ページにあります。特別支援教育総合推進事業ということで、約5,200万円の予算をかけて支援員を配置し、障害をもっている子どもにきめ細かな対応ができるようにしていただいております。その他にも、小学校英語活動者配置事業、放課後学習教室事業などいろいろありますが、他市にはないことにお金をかけて教育環境の充実を図っていただいております。	千倉(健田)	教育長
61	保健福祉	生活保護	生活保護を受けるために相談にいった方が、毎日仕事があると紹介されたのに、1日しか仕事がなかったというのを聞いた。市は業者をどのような方法で選定しているのか。	仕事の紹介は、就労支援員がハローワークと連携して行っています。市が業者を選定しているものではありません。	千倉(健田)	保健福祉部
62	消防防災	防災対策	災害時に要支援者は、民生委員が主になって支援する仕組みから、区長をはじめとした地域住民、消防団員などが協力して支援していくことになったと思います。今後どのようにして体制整備を進めていくのか。また、要支援者の情報は個人情報のため、どのくらいまで提供しているのか。	平成20年頃に手上げ方式により要支援者300名位の名簿を作成しました。実際はもっといるのではないかと思いましたが、平成23年に独居世帯、障害者のいる世帯に通知を出して、民生委員さんにもご協力いただき新たな名簿を作成しました。 その時に、災害時には消防団、区の自主防災組織、警察などの関係者に、情報提供する旨の同意をいただいております。名簿を有効に活用するため、区長さんにアンケート調査を行いまして、その結果を踏まえて現在体制整備について検討しているところです。	千倉(健田)	保健福祉部
63	市政一般	将来像	安房郡市の3市1町は、昔から一体感があり、消防、火葬場など広域で行っていることも多い。今後、市町の再合併や適性な自治体の規模についてどう思うか将来展望を伺いたい。	現時点で再合併の議論はございません。合併した当初は、将来的には合併した方がいいのではという意見は首長の間でありましたけれども、その後、再合併に向けた議論は行われておりません。 市単独で行っているよりも、効果的、合理的、効率的に行える事業として、ゴミ処理、火葬場などの事業については3市1町の共同事業として取り組んでおります。その他にも例えば観光については、お客様は南房総地域ということで来る方が多いですので、地域一丸となって取り組んでいった方がいいと思いますが、それぞれの地域の事情もあり、体制がひとつになるまでにはなっていないのが実情です。ご意見のとおり他市町といっしょに進めていった方がいいことについては、これからも協力ながら進めていきたいと思っております。	千倉(健田)	市長
64	広域行政	し尿処理施設	し尿処理施設の建設に関して、説明が不足していると思う。	これからも、引き続き地域の方々との協議を重ねて進めていきたいと思っておりますので、御理解をいただきたいと思っております。	千倉(健田)	市長

	大分類	小分類	意見・質問等	回答	会場別	回答者
65	市議会	市議会	市議会議員の活動報告が日常的に行われているのか。また住民の意見を吸い上げる活動は行われているのか。	議員の皆さんは、それぞれ地域住民の皆さまから意見を伺ったり、報告するなどの活動をしていると思います。	千倉(健田)	市長
66	社会教育	スポーツのまちづくり	スポーツのまちづくりで交流人口の増加とあるが、どんなスポーツで、どのように進めていくのか。	既存のグラウンド、体育館などの施設を活用し、現在行われているサッカー、野球、ミニバスなどの大会の充実、合宿の誘致などにより交流人口の増加を図っていききたいと思います。具体的には、来年3月に千倉運動公園野球場で新潟の大学が1週間キャンプをすることになりました。これからも大会の拡充や合宿の誘致に努力していききたいと思います。	千倉(健田)	教育長
67	子育て支援	施設	子育て拠点事業977万円とあるが、どのようなことをしているのか。	丸山地区にある子育て支援センターほのぼので、基本的に3才未満の子供を自宅で子育てしている方を支援するために活動しています。親子で参加できる行事を計画したり、自分の時間で遊びに行ったり、相談に行ける施設です。	千倉(健田)	教育長
68	子育て支援	学童保育	館山市では、学童保育を小学6年生まで拡大することだが、南房総市はどうか。	国の方針が小学6年生まで拡大されたようですので、南房総市としても小学6年生まで拡大する方向で検討しております。人手の確保や予算措置が必要なため、これから詰めていききたいと思います。	千倉(健田)	教育長
69	保健福祉	高齢者化対策	高齢化が急速に進む中で、市内で老人ホームを建設する計画があるのか。また、閉校した学校などの公共施設を活用して、老人ホームの整備をできないか。	平成27年度からの老人保健福祉計画を策定中で、現在事業者からのアンケートを行っております。アンケートの結果、建設する予定があれば計画に入れていきます。	千倉(七浦・ 忽戸・朝夷)	保健福祉部
				利用しなくなった公共施設を老人ホームにすることは出来ます。富山支所を実際に老人ホームにした例もあります。地域の皆さまの意見を尊重しながら検討していききたいと思います。	千倉(七浦・ 忽戸・朝夷)	市長
70	消防防災	避難所	旧忽戸小学校の近くに住んでいるが、車がなくて遠くまで避難できないので、避難場所と考えていいか。また、避難所は市職員が開設してくれるのか。	旧忽戸小学校は、引き続き広域避難所として機能させております。避難所は市職員が開設いたしますが、その時の災害の状況により、どこの避難所を開設するか変わりますので、御理解をお願いいたします。	千倉(七浦・ 忽戸・朝夷)	市民生活部
71	社会教育	スポーツのまちづくり	平磯の耕作放棄地にスポーツ施設を整備する計画がありました。相続など問題があり難しいと伺いました。津波の避難場所としてもいいので、規模を縮小してでも整備していただきたいと要望します。		千倉(七浦・ 忽戸・朝夷)	回答なし